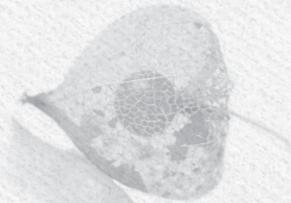




高橋秀典 [著] 立川福音自由教会牧師教会牧師



# 心が傷つきやすい 人への福音



「神を信じれば、平安で、揺れ動くこともない!  
こんな短絡と誤解に、もう苦しまなくてもいい。」

8月24日刊行予定

〈否定的〉と言われている諸感情に振り回され、そんな自分をさらに断罪し続けるという無限ループに陥る信仰者はいないだろうか？ Vulnerability（傷つきやすさ）をむしろ人間の自然な本性と捉え直し、そこから感情豊かな生へと眼を開いてくれる水先案内の書。



主な目次

推薦のことば 小淵朝子/中村佐知

はじめに

- 一 ハイリー・センシティブ・パーソン（HSP）とは？
- 二 「敏感な人が抱えやすい心の問題」
- 三 「境界線（バウンダリーズ）のもろさへの対応」
- 四 「私たちの心の中にある渇きと癒し」（エニアグラムによる自己分析）
- 五 ギリシャ哲学の「不動の心」と神の御子イエスの心
- 六 「ダビデの傷ついた心の表現」

「詩篇五五篇」（心が奥底から悶え、死の恐怖に襲われた心の表現）

「詩篇一四二篇」（霊が内側で衰え果て……ひどくおとしめられている心の表現）

「詩篇三八篇」（私の傷は うみただれ……心の乱れによって、うめいています）

「詩篇三一篇」（死人のように……壊れた器のようになってしまいました）

七 「見捨てられ不安を祈る」（詩篇二二篇）

八 「孤独感を受け止め、神に訴える祈り」（詩篇六九篇）

九 「私は多くの人にとって奇跡と思われました。」（詩篇七一）

十 「神を信じるのが空しく思えるとき」（詩篇七三篇）

十一 「怒りの感情への向き合い方」（詩篇三七篇）

十二 「復讐したい気持ちを受け止め、祈る」（詩篇一〇九篇）

十三 「主（ヤハウェ）よ、私を生かしてください」（詩篇一四三篇）

十四 「今ここにある神の国」（詩篇一四五篇）

おわりに 脚注/あとがき

著者略歴：

高橋秀典（たかはし・ひでのり） 1953年北海道大雪山のふもとで誕生。北海道大学経済学部卒業、在学中にオレゴン州に交換留学し、信仰に導かれる。野村證券に10年間勤務（うち滞独6年半）。同社勤務中ケルン大学金融ゼミナール修了。聖書宣教会聖書神学舎卒業。現在、立川福音自由教会牧師。

著書に「心を生かす祈り」（詩篇の私訳交読文と解説）、「現代人の悩みに効く詩篇」、「哀れみに胸を熱くする神」（ヨシュア記〜列王記解説）、「正しすぎはならない — Let it be」（伝道者の書の翻訳と解説）、「小預言書の福音」、「聖書から見るお金と教会、社会」、「職場と信仰」、「恐怖からの解放者イエス — ヘルプ人への手紙、私訳と解説」、翻訳にジェームス・フーストン著「キリストのうちにある生活（日本と欧米の対話の向こうに）」などがある。

四六判・248頁・定価1,650円税込

本体1500円+税 ISBN978-4-909871-77-0 C0016